

Rowingチートシート

- 中央大学理工ボート部季刊誌に寄せて -

54期 瀧川綾乃

はじめに

はじめまして。54期の瀧川綾乃と申します。この度は季刊誌へ寄稿する機会をいただき、ありがとうございます。ミニオールを頂いてから3年ほどになりますが、大学卒業後も理工ボート部の皆さんと関わることができ、嬉しく思っております。

今回の季刊誌に寄せて、現役の学生へ向けて私が現役時代に教わったRowingに関するブログや漕手の言葉など、ボートの魅力を感じるものについて紹介したいと思います。理工ボート部の近年は私の代も含め「自分の意思」が重要な組織だと思っています。練習をするもしないも自分次第です。しかし、練習をすればするほど漕ぎが合わない、バランスが取れない、クルーの閉鎖的な人間関係など、普段の練習では楽しさを感じづらい競技だとも感じています。その中で客観的に競技を見る機会としてほしい、という趣旨です。私は社会人になり、ボート競技は学生だけができる特権のような競技だと感じています。仕事の時間的制限が多くなることに加え、ボート競技特有の課題として、出漕可能な大会が限定される、競技環境が限定されていることもあります。

大学生活の一部として「理工ボート部」を選択してくれた現役学生の皆さんには、その特権を十分に活かしてほしい。本稿がその一助になれば幸いです。

以下、各HPのリンクについて記載しています。本稿ではリンク先の内容を記載することは控えますが、代わりに漕艇場の写真を掲載します。コロナ禍で合宿や遠征の機会は少ないかもしれませんが、興味があれば調べてみてください。

参考ブログ

- Rowingの志 <<http://rowingcox.blog.fc2.com>>
他大学ボート部でコーチを務められていた方のブログ。熱量と文章量がすごい。特に漕手技術論という連載記事を勧める。 <<http://rowingcox.blog.fc2.com/blog-entry-179.html>>
- ピロティロリンのブログ <<http://pirotirorin.com>>
リオオリンピック代表の中野紘志さんがRowingの技術や考え方を記載しているブログ。
- ハマダーの日記Ver2.0 <<http://hamarowing2.seesaa.net>>
他大学の元漕手の方のブログ。最近は更新されていないが、2016年ごろに練習記録の記事などが記載されている。考え方の過程が丁寧に書かれているので、自分自身と比較し練習のモチベーションアップにつなげてはどうだろうか。

川辺漕艇場

世界の大会

- Henley Royal Regatta <<https://www.hrr.co.uk>>
イングランドの初夏の風物詩とされているレガッタ。
- the Boat Race <<https://www.theboatrace.org>>
4月ごろにイギリスのテムズ川で開催される。オックスフォード大学とケンブリッジ大学のエイトの対抗戦。川辺でビールを片手に観戦するらしく、一度は現地で観戦してみたいレガッタ。
- 早慶レガッタ <<http://the-regatta.com>>
隅田川で開催される慶応大学と早稲田大学の対抗戦。三大早慶戦の一つ。



その他

- Instagram
技術的なこととは関係ないが、海外でのRowingのメジャースポーツとしての扱い、きれいな湖での風景、ユーモアたっぷりの24xなど、漕ぐだけでないボートの魅力を知ることができる。お勧めのアカウントを以下に紹介する。
 - <@washingtonrowing>
エルゴがならんだ練習風景、レガッタなどの様子が掲載されていて、海外のRowing生活を知ることができる。
 - <@cubc_squad>
上記と類似だが、ケンブリッジ大学の練習風景を見ることができる。強豪大学のInstagramはプロモーションが意識された格好良い写真が多いため、一度覗いてみてほしい。
 - <@sens.robert>
オーストラリアのヘッドコーチのアカウント。モーターから至近距離で様々な選手の漕ぎの映像を見ることができる。



河口湖漕艇場

おわりに

本稿は季刊誌の趣旨とは少し異なるものかもしれませんが、世代によって異なる技術の基本や情報の共有を目的とし、機会を利用させて頂きました。また、今回の季刊誌は私の同期である54期メンバーも寄稿しています。私が現役時代にお世話になった同期の記事ですので、そちらも御覧になってみて下さい。最後に、日頃より精力的に活動頂いている理工ボート部監督、コーチ、OB会幹事の皆様におかれましては、この場をお借りし御礼申し上げます。



54期